

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

(54) ELECTRONIC COMPUTER SYSTEM

(11) 63-37456 (A) (43) 18.2.1988 (19) JP

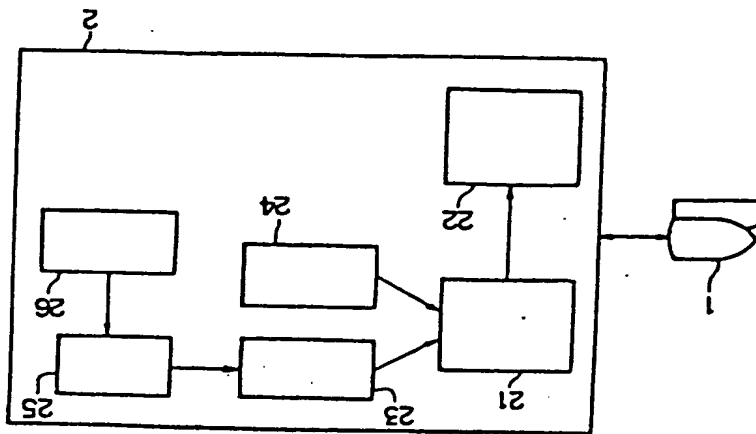
(21) Appl. No. 61-179897 (22) 1.8.1986

(71) NEC CORP (72) MASAO MARUYAMA

(51) Int. Cl. G06F15/00

PURPOSE: To allow a user to easily memorize his password and to prevent him from forgetting his password by using the name of a file that he accesses last as a password when he uses an electronic computer system next time.

CONSTITUTION: The user enters the power source of a terminal equipment 1 and executes the prescribed log-in procedure. With a log-in request given, the acquisition means 23 of a host computer 2 takes out the file name (password) that a registration means 25 registers and that a storage device 25 stores. The file is accessed by the user last. Besides to the password, a generation means 24 generates plural dummy passwords similar to said password, and a list output means 21 displays them on the equipment 1. When the user inputs the password, a decision means 22 permits log-in if it is a true one, and he can use files. When the user cuts the power source of the equipment 1 upon the completion of processing, the means 26 stores the name of the file that is accessed last in the device 25 and takes the name for a next password.



21: software output means

⑨ 日本国特許庁(JP) ⑩ 特許出願公開
⑪ 公開特許公報(A) 昭63-37456

⑫ Int.Cl.⁴
G 06 F 15/00

識別記号
102

庁内整理番号
6549-5B

⑬ 公開 昭和63年(1988)2月18日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 電子計算機システム

⑮ 特 願 昭61-179897

⑯ 出 願 昭61(1986)8月1日

⑰ 発 明 者 丸 山 雅 夫 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑱ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
⑲ 代 理 人 弁理士 山内 梅雄

明 細 書

1. 発明の名称

電子計算機システム

2. 特許請求の範囲

1. 利用者のパスワードを記憶するための記憶手段と、この記憶手段に利用者のパスワードを書き込むための登録手段と、記憶手段に記憶されているパスワードを読み出すための読み出し手段と、利用者が入力したパスワードと読み出し手段が記憶手段から読み出したパスワードとの一致または不一致を判定するための判定手段とを有し、この判定手段が、利用者が入力したパスワードと読み出し手段が記憶手段から読み出したパスワードとが一致すると判定した場合のみ利用者にシステムの使用を許可する電子計算機システムにおいて、前記登録手段は利用者がログアウト手続きを実行したとき、利用者が最後にアクセスしたファイルの名前をパスワードとして前記記憶手段に書き込むことを特徴とする電子計算機システム。

2. 1つ以上の類似パスワードを生成するため

の文字列生成手段と、前記読み出し手段が前記記憶手段から読み出したパスワードと、この文字列生成手段が生成した類似パスワードとを表示するための表示手段とを有することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電子計算機システム。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は電子計算機システムに係り、特にパスワードによって利用者の識別を行い、あらかじめ登録されているパスワードを指示した利用者によるシステムの使用を許可する電子計算機システムに関するものである。

〔従来の技術〕

一つの電子計算機システムを複数の利用者が同時に使用するタイムシェアリングシステムにおいては、一般にパスワードによって一人一人の利用者を識別している。利用者がこのシステムにログインする場合には、まず、あらかじめ登録してあるパスワードを端末からホストコンピュータに入力する。ホストコンピュータはこのパスワードが

登録されているかどうか、すなわち、この利用者が電子計算機システムの使用を許可されているかどうかを調べ、パスワードが登録されている場合にのみこの利用者に対し電子計算機システムの使用を許可する。

このパスワードは、利用者が一定の条件のもとで任意に決め、ホストコンピュータにあらかじめ登録しておく。もしパスワードが他の利用者に漏洩したような場合には、電子計算機システムが不当に利用されていることを防止するため別のパスワードに変更し再登録をおこなう。

〔発明が解決しようとする問題点〕

上述した従来の電子計算機システムにパスワードを登録する場合には、利用者は一般に、他の利用者によって不当に電子計算機システムが使用されることを防ぐため、できるだけ他の利用者が想起しにくいパスワードを選択する。しかし、このようにして決めたパスワードはその利用者自身にとっても記憶しにくいものであるため、登録したパスワードを忘れてしまいログインできないとい

うことがしばしば起きていた。

本発明の目的は、このような問題を解決するため、容易に記憶できるパスワードによって登録が行え、しかもパスワードが他の利用者に漏洩しても不当に使用されにくい電子計算機システムを提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明の電子計算機システムは、利用者のパスワードを記憶するための記憶手段と、この記憶手段に利用者のパスワードを書き込むための登録手段と、記憶手段に記憶されているパスワードを読み出すための読み出し手段と、利用者が入力したパスワードと読み出し手段が記憶手段から読み出したパスワードとの一致または不一致を判定するための判定手段とを有し、この判定手段が、利用者が入力したパスワードと読み出し手段が記憶手段から読み出したパスワードとが一致すると判定した場合のみ利用者にシステムの使用を許可する電子計算機システムにおいて、前記登録手段は利用者がログアウト手続きを実行したとき、利用者

が最後にアクセスしたファイルの名前をパスワードとして前記記憶手段に書き込むことを特徴とする。

〔実施例〕

次に本発明について図面を参照して説明を行う。

第1図は本発明の一実施例の電子計算機システムの部分ブロック図である。第2図はこのシステムの動作および端末装置における利用者の操作手順を示すフローチャートであり、利用者の操作手順を示す部分は枠Aによって、またホストコンピュータの動作を示す枠Bによって囲まれている。第1図には、利用者が操作する端末装置1とホストコンピュータ2とが示されており、ホストコンピュータ2は次の(イ)～(ハ)で示す手段または装置を有している。

(イ) 複数のファイル名、すなわちファイル名群を端末装置1に表示するリスト出力手段21。

(ロ) 入力されたパスワードが登録されているかどうかを判定する判定手段22。

(ハ) パスワードを記憶する記憶装置25。

(ニ) 記憶装置25からパスワードを取り出す獲得手段23。

(ホ) 擬ファイルを生成する生成手段24。

(ヘ) セッションの最後にアクセスされたファイルの名前をパスワードとして登録する登録手段26。

ここに挙げた(イ)～(ハ)の手段または装置は(ハ)で示した記憶装置25を除きすべて電子計算機の制御動作によって実現する。

次にこのシステムの制御動作について説明を行う。このシステムはタイムシェアリングによって複数の利用者が同時に使用できるものである。個々の利用者が使用を開始する時は、まず端末装置1の電源を投入し(ステップ①)、次に所定のログイン手続きを実行する(ステップ②)。ホストコンピュータ2の獲得手段23は端末装置1からログインの要求があると、登録手段26によって登録され記憶装置25に格納されている前回のセッションの最後にアクセスされたファイルの名前すなわちパスワードをとりだす(ステップ③)。

生成手段24はこの登録されているパスワードをもとにこれに似た類似的な複数のパスワードを生成する(ステップ④)。リスト出力手段21は生成手段24が生成した類似パスワード群を真のパスワードと共に端末装置1に出力し表示させる(ステップ⑤)。

第3図はこのときの端末装置1の画面を示している。真のパスワードを唯一含む9種の文字列(真のパスワード以外はすべて類似パスワード)と、真のパスワード、すなわち最後にアクセスしたファイルの名前を選択するよう求めるコメントが表示されている。利用者は最後にアクセスしたファイルの名前に付けられた番号を端末装置1を通じてホストコンピュータ2に入力する(ステップ⑥)。ホストコンピュータ2の判定手段22はこの番号のパスワードが真のパスワードかどうかを判定し、真のパスワードであればログインを許可する(ステップ⑦、⑧)。これによって利用者は端末装置を通じてのオンライン処理が可能となる(ステップ⑨、⑩)。

オンライン処理が終了すると利用者はログアウト通知を行い(ステップ⑪)、端末装置1の電源を遮断する(ステップ⑫)。ホストコンピュータ2は端末装置1からログアウト通知が入力されると、ログアウト手続きを実行し(ステップ⑬)、次のログインのためパスワードの登録を行う。すなわち、登録手段26はこのセッションの最後にアクセスされたファイルの名前をパスワードとして登録するため記憶装置25に格納する(ステップ⑭)。以上で、この利用者に対する処理が完了する(ステップ⑮)。

(発明の効果)

以上説明したように本発明の利用者においては、利用者自身が最後にアクセスしたファイルの名前が次の電子計算機システム使用時のパスワードとして用いられる。利用者にとってこのパスワードを記憶することは容易であり、従ってパスワードを忘れ、電子計算機システムを使用できないということがなくなる。

また、通常の電子計算機システムの利用におい

てファイル名はセッションごとに変更することが多い。従ってパスワードがしばしば変更されることになるのでパスワードの漏洩による電子計算機システムの不当使用は起こりにくくなり、不当使用者によるファイルの破壊等も防止できる。

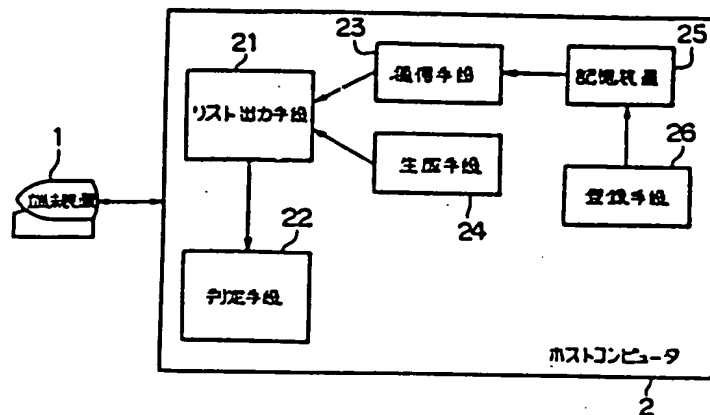
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例における電子計算機システムの要部を示すブロック図、第2図はこの実施例における電子計算機システムの動作を説明するための流れ図、第3図は端末装置の画面表示を示す模式図である。

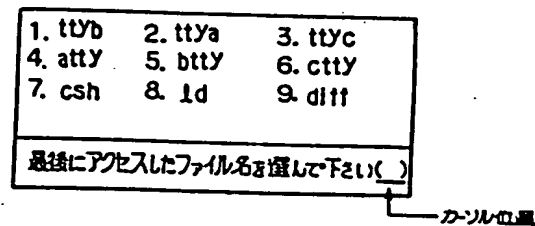
- 1 …… 端末装置、
- 2 …… ホストコンピュータ、
- 21 …… リスト出力手段、
- 22 …… 判定手段、23 …… 獲得手段、
- 24 …… 生成手段、25 …… 記憶装置、
- 26 …… 登録手段。

出 願 人 日本電気株式会社
代 理 人 弁理士 山内 博雄

第 1 図



第 3 図



第 2 図

